2021-2022

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

第1506回例会 Apr.13.2022 No.21

東京新都心ロータリークラブ 【 いつも元気だ！新都心 】

Shintoshin Weekly

〒160-0023 新宿区西新宿2-7-2 ハイアット リージェンシー 東京11階
TEL：03-3340-3555 FAX：03-3340-3554
HP：http://www.tokyo-shintoshin-rc.org E-mail：shintoshin-rc@par.odn.ne.jp

会長 小川恵司 幹事 伊豆隆義 創立：1988年9月21日

「成長し続ける人生経営～菅田将暉を育てたベンチャーコンサル論」

経営コンサルタント 放送ジャーナリスト 菅田将暉の父
菅 生 新 氏



コロナもあって講演や多くの方との出会いは久しぶりです。ほとんどこの2年間、講演は延期や中止でしたので…

まずは簡単に自己紹介させていただきます。

初めまして、菅生新です。

私は経営コンサルタントとして主にベンチャー企業の顧問業をしながらテレビ・ラジオのMC・パーソナリティやコメンテーターとして出演して約30年経ちます。最近出演した番組のコメンテーターとしては必ず「菅田将暉の父」としても紹介されるようになり「ネプリーグ」などのクイズ番組にもたまに出演しております。出た瞬間にSNSで注目されるらしいです。しかし「菅田将暉の父」という職種ではありません。息子や息子の結婚が知らない人が知っていて挨拶されるのも慣れましたが不思議なものです。

放送ジャーナリストとしてテレビでは「カンブリア宮殿」のような企業家登壇紹介番組をMCで長く「菅生新のサクセスファイター」「菅生新のビジネスハンター」など約20年前から各局でやってましたので。その頃からの人脈が多く私の友人財産にもなり、またテレビラジオでは自分でほぼゲストをキャスティングもしてきました。テレビ番組とかでは会いたい人に会いやすいということもあり…当然、その後ゲスト起業家は株式上場したり様々な展開をしていますし現在活躍企業家は多いです。例えば、くら寿司、鳥貴族、大阪王将、丸亀製麺、つるとんたんなど関西出身の飲食ベンチャーもまだまだ上場前からのテレビラジオゲストです。私自身、元々、様々な業界や仕事に興味があり人の話を聞いたり人間観察も好きなのでテレビラジオMCは向いていました。二人MCとしてはあの萩本欽一さんとも全国区テレビ番組をやらせてもらいました。その時は、すしざんまい木村清社長を私がゲストに呼んで欽ちゃんと対談・笑談とか…木村社長のように私の番組がきっかけで多くのメディアに出て有名になった方は多いです。元々、ベンチャー企業家は商品やお店など目立ってナンボなのでとメディアで差別化や自身のビジネスモデルアピールが仕事なのですから必然ですね。

私のコンサルタント業としてのノウハウは沢山のゲストの実際の生の声、足跡、苦労、アイデア、ノウハウありきです。一例として…1999年に大阪でバイク便で成功していた二十代青年起業家からの面談依頼でA4用紙3枚くらいの企画書で…夢の街を創る計画書をプレゼンされました、この夢の街創造委員会株式会社が約20年後、現在の株式会社出前館となります。社外取締役もしてきて現在はコロナ追い風の社会のインフラ生活として社会インフラ兼必要企業になりました。慶長メッセージサービスというネット電報ベンチャーも株式会社ヒューモニーになり定番のネット電報定番に…ゲスト出身で貸し会議室TKPや株式会社ハウスドゥなどもサクセスファイターズという私のラジオテレビのゲストの集う毎月の例会で出会います、当然、コラボやシナジーが生まれ、社長たちは仲良くなります。他の業界の刺激やアイデアは同業者よりも時にはためになります。このサクセスファイターズ会という例会を約30年間、東京と大阪とで開催しています。

時には大物社長もお呼びして例会をします。その中でもHISグループ創業の澤田秀雄会長が公私共に仲良くさせてもらってて「経団連では自分のような若者創業者の意見は通らない、ベンチャーによるベンチャーの会を創ろう！」と一般社団法人「アジア経営者連合会」を約13年前に創りました。今で約400社…新進気鋭のマザーズなどに上場仕立てのベンチャー起業家が集まってきて勉強会とかで刺激しあっています。

澤田会長が数年前に経営を引き継いだハウステンボスには私がイルミネーションを提案して「光の王国」として成功させました。熱意とアイデアが有れば無理だと言われる事業も成功するものです。あのニトリホールディングス似鳥会長もメンバーで直接色々と楽しく成功や失敗事例も教えてもらってます。

2022年4月13日(水) 第1506回例会
「成長し続ける人生経営
～菅田将暉を育てたベンチャーコンサル論」
経営コンサルタント 放送ジャーナリスト 菅田将暉の父
菅生 新 氏（紹介者 高木 征太郎 会員）

2022年4月20日(水) 第1507回例会
「変化の時代における新しい情報の取り方」
株式会社 情報工場
代表取締役社長 藤井 徳久 氏
（紹介者 段谷芳彦会員）

私の例会もやはり「生の声」で「失敗から学ぶ」を重要視しているようです。私より少し若手のベンチャーの雄としてはフルキャストの平野さんや株式会社ラウンドワン杉野社長が居ます。創業の頃、初期は古い居抜きの汚いボウリング場を鳩の死骸を沢山掃除し退けて彼は作りました。

業者から嫌味として「付け焼き刃の神社のテキ屋みたいなボウリング場なんか作ってどうするんですか？」と言われた

杉野社長は「なにくそ」モチベーションで今や世界一のレジャー・ボウリングの会社となりました。創業者としては新記録の38才で東証一部に上場し、現在、国内122店舗、アメリカ70、モスクワまで。

上記、出前館の会社・夢の街創造委員会株式会社も二代目の中村利江社長が頑張り2006年に株式上場させました。色々と銀行や投資家にいじめられながらも。会社が小さい、社長が若いや女性だからとかいって相手の潜在能力をバカにしてはいけない…若いからこそ可能性は無限大。大切なのはリーダーの熱量と市場の発展的可能性だと思います。澤田さんや似鳥さんらは特にそう思って若者たちからもどんどん学んで応用しています。

私たちも60代で次の世代はもっと凄い…進化した二刀流の大谷翔平や藤井聡太は各業界に沢山居ます。私は薬品会社営業マン出身で二十代半ばの時、寿司屋で食べながら見上げたTVでニュースステーション久米宏さんを観て「あっ、あそこに居たい、キャスターに成りたい！」と感じで一念発起して頑張りました、10年後にはテレビキャスターになっていました。人は成りたい者に成れる！夢やイメージは実現する、思い込んだらあとは作業…と周りにはいつも話しています。「笑い・集い・感謝」の三信条が私の人生のクレド…人生経営理念。笑顔は未来を呼ぶ人間の技…感謝…繋がりの元は1番大切。親、祖先。営業先、そしてお客様が営業マン。社長は業界全体を真摯に創る仕事。

理論武装の大切さも学び伝えています、

「100メートル約18秒かな？」…コレは有森裕子さんがラジオゲストに来て伝えてくれたマラソンの理論武装、つまりマラソンとは最後まで100メートル18秒ペースで走るのか？をイメージしたらホントに凄いと分かるスポーツなのです。

我が家の長男が中1の時、小学生の弟が「何で勉強なんかせなあかんねんやろなぁ？」と言った時、直ぐに「そりゃ将来の選択肢増やすためや！」と理論で説得していたのです。コレは我が家の教えの一つです。

会社も個人も良い性格になりましょう！とも話していて、つまり良い性格とはプレゼンなんですね、個人の。どう思われるか思わせるか？のイメージの世界。大切なのは四つのプライド…自分、商品、仲間、生き方という。

仕事をライフワーク以上の使命感業としましょう！

とも本に書きました。普通の仕事は興味本意から行いそれがワークという仕事に変わり、進化するとライフワークになる、人生かけてきたモノという意味でも。そして仕事は使命や天命という人もいる。

やはり、「使命であった！」と言って仕事人生の終わりには思いたいものです！

最近息子の

菅田将暉も「僕ら俳優部の使命は…とか熱量は…」とか言い出していて、対韓国映画界や欧米に負けずに頑張ろう精神が芽生えてきている様です。

日本の俳優もどんどんハリウッド映画に出て世界に羽ばたいてもらいたいものです。

我が家のもう一人のモチベーターとして「3兄弟のあしあと」を出版し教育関係に講演引っ張りだこの妻・菅生好身さんが居ます。

素晴らしい子育て前にサラリーマンからコンサルタントへと旦那育てをした功労者で頭は上がらなく凄いイメージ目標設定能力の人です。

我が家でも目標設定は宣言ごっこを子供が小さい頃からしていて、また今日一日良かったこと三つ話そう！を寝る前に言います。細かいことでもOK。

今年の目標！今月の目標！は数字をつけて理論武装で具体的に！です。

映画「糸」はご存じですか？

実は恋愛映画ならぬベンチャー成長チャレンジ物語なんです。北海道のチーズ工場勤めの青年役の菅田将暉がネットや娘のアイデアを駆使して世界へ挑戦したり小松菜奈ちゃん演じる若い主人公の女性は親の虐待から前向きに人生を切り替えネイルベンチャーとしてシンガポールで起業したり…数々の挫折や人との出会い…縁を糸を紡ぐように頑張って出会う全ての人たちを笑顔にしていく感動名作映画です。配信でもご覧下さい。

経営は親業！

人生も親業！

このフレーズをよく言ってます。社長が社員を親がわりとして育てる、というのは当たり前ですが…良い環境を作って気持ちよく気分良く働いてもらう！というのが答えです。

長男、菅田将暉が「いつから芸能界目指したのですか？親が仕向けました？子役ですか？」とか聞かれることも多く、その答えとしては「中1の春に大阪城ホールでの福山雅治コンサートに妻と行かせて帰ってきた時に…どうやった？」

で長男が「福山雅治さん気持ちよさそうやった」と。本人はステージ目線で気持ちよさそう！を感じてたので、その後約1年間、連れ回して映画館、舞台観劇させたら、1年後、学園祭で自分で脚本演出主演して…「きゃー！」と言われて気持ちよさそうだったんです。その時から今の俳優業スタートです、親は社長は社員に気持ちよさそうにさせるのが業だと思いませんか？

世間では、世界でも様々な問題や事件が常に起きています。

その度に、その人の親が？どうだったんだろう？と考えるのです。

純粋に赤ん坊として生まれてきて何がそうさせたのか？と。
悪いことをする会社も同じです。やはり、原点に帰って常に真摯に世のため人のために家でも会社・社会でも「親業」を推進していきたいと思います！





会報委員会

会報委員会　委員長　黒田康之／副委員長　森田尚樹
委　員　　段谷芳彦　神農貴大　金田哲夫　川合利幸　北岡修一　児玉　譲　宮﨑　清
西原将大　田口文彦　高木征太郎　内川晃一　吉田寿人